

雇用企業主様から



東日本大震災における即応予備自衛官の活動について

(株) 佐藤建設 代表取締役 佐藤 吉博

株式会社佐藤建設は昭和47年に合資会社を設立。その後、平成6年に株式会社として立ち上げ、主に官公庁からの受注にて土木建設業を営んで参りました。

土木建設工事においては、ただ一つとして同じ現場は存在しないという難しさや作業工程の上で交通規制、騒音対策、振動対策等で近隣住民の協力なくしては施工できない難しさがあるので、各作業所では常に地域住民とのコミュニケーションを図り、地域に貢献できる要素を模索しながら施工している次第です。

弊社には、季節の臨時社員を含め約30名が在籍しており、内2名が即応予備自衛官として活躍しております。

数年前、彼らの採用にあたり訓練のため年間30日間休職しなければならないのを知りましたが、勤勉でムードメーカーまた責任感も強く他の社員との協力体制も十分できることなどを考慮し、仲間として加わっていただきました。

今回の、大震災における即応予備自衛官としての活動が具体化したことを彼らから知らされてワンステップ上の貢献ができるものとして、彼らを激励し被災地に送り出した次第です。

任務終了後に帰って来てからの感想を聞くと、テレビ等で報じられているより更に悲惨な状況に心を痛めたとのことでしたが、その状況を克服し立派に救援活動を行ってきた事に対して心から労をねぎらいました。

今後も、即応予備自衛官の活動に対しては社員全員で協力し合い、送り出せるよう心掛けていきたいと思っております。また、即応予備自衛官の採用も積極的に行い地域への活性化、及び社会への貢献を果たしていきたいと思っております。